

平成25年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成26年1月21日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名(1名欠席)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査8名(2名欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成25年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1
(2) 平成25年度東京都公民館連絡協議会 関係資料・・・資料2
①第8回委員部会 会議記録
②トリターマ12月号
③公運審だより(福生市)
(3) 平成25年度第5回小平市公民館運営審議会会議要録・・・資料3
(4) サークル運営の手引き・・・・・・・・・・・・・・資料4
(5) 平成26年度主催講座一覧表・・・・・・・・・・・・・・資料5
- 6 次 第 (1) 館長報告
(2) 平成25年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成25年度公民館まつり開催報告について
(4) 平成25年度東京都公民館連絡協議会役員会・職員部会・委員部会報告について
(5) 『公民館のあり方の検討についての意見書』提出後の経過について
(6) 平成26年度公民館主催講座について
(7) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 第 51 回東京都公民館研究大会について

東京都公民館連絡協議会会長市として参加した。各課題別集会とも、熱心に議論されており、意義ある大会であった。今後、どのように公民館事業を展開していくかが、各市の大きな課題であると感じた。

(2) 新仲町公民館・図書館の愛称募集について

都内だけでなく、地方からも応募があり、最終的に 778 件の応募があった。選考については、公民館運営審議会会長を含めた 9 人の選考委員により行われ、最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件を選考する。

2 平成 25 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 1 について説明した。

(質疑応答)

委員 津田公民館の家庭教育講座、夜間講座への応募が多くてすばらしい。何か地域的な要因はあるのか。

事務局 津田公民館では、近年ヨガの講座をやっていなかったということから応募が多かったと考えられる。また、夜間講座なので、日中参加できない人も参加できる講座になった。講座終了後、サークルになり、抽選に落選して受講できなかった人にも声をかけて活動している。

委員 中央公民館のタイムリー講演会「いま必要な親力とは？」は、小さな子ども連れ若い父親、母親の参加が多く、特に父親が「親力」というテーマに関心を持っているということが印象的だった。

委員 鈴木公民館のジュニア講座は、近隣の小学校にチラシを配布し、多くの応募があったとのことであったが、他の公民館でも、近隣の学校にチラシを配布しているのか。

事務局 各公民館で行っている。

委員 講座の実施状況を聞いていると、事業計画と照らし合わせても、非常に良い成果が出ているようでうれしい。平成 26 年度の事業計画を検討する時期でもあるので、来年度に向けて引き続き、熱心に取り組んでほしい。

委員 小平市の HP で、公民館のページになかなかスムーズにたどり着けない。メールマガジンも配信されているが、登録しなければ情報は入ってこない。公民館を知らない人にも、積極的に PR できる方法を考えてほしい。

事務局 小平市の HP については、秘書広報課が担当している。HP のリニューアル検討会に、公民館職員も参加し、意見してきて、ようやく公民館というカテゴリができた。講座の募集が決まったときには、イベントに掲載すると同時に、トピックスとしてトップページに掲載されるようにしており、また、東西の地域に分けて、公民館事業の閲覧ができるようになっている。引き続き、検討会では、積極的に意見し、さらに見やすい HP になるよう努めていく。

3 平成 25 年度公民館まつり開催報告について

事務局より説明した。

1 月 18 日、19 日に大沼公民館まつりが実施された。小平第六中学校箏曲部、小平第七小学校吹奏楽部の演奏で始まり、利用団体の作品展示のほかに、今年初めて、大沼町に練習場のある FC 東京にユニフォームや試合の写真等を展示し、好評であった。講演会は、渡辺実さん（防災・危機管理ジャーナリスト）による「立川断層帯地震に備えて」を実施し、参加者数は 72 人であった。また、東日本大震災復興支援として、笹かまぼこと希望のむヨーグルトを販売し、非常に盛況で完売した。2 日間の来場者数は 1,692 人であった。

3 月 8 日、9 日に小平市公民館まつりを実施する予定で準備を進めている。作品展示は、3 月 5 日から実施する予定である。

（意見等）

委員 大沼公民館まつりは、寒い中であったが、館内は熱気であふれていて、多くの参加者でにぎわっていた。団地の中で、図書館と併設館なので、子どもが多く、楽しいまつりだった。

委員 小平市公民館まつりでは、今回初めて、公民館運営審議会であんころもちの販売をする。

- 4 平成 25 年度東京都公民館連絡協議会役員会・職員部会・委員部会報告について
事務局、委員より資料 2 について説明した。

第 51 回東京都公民館研究大会の参加者は、第 1 課題別集会在 117 人、第 2 課題別集会在 77 人、第 3 課題別集会在 73 人であった。

平成 27 年度の第 56 回関東甲信越静公民館研究大会は東京都で開催することになっているが、会場、宿泊先等の受入体制の確保が困難であるため、今回は特例として、1 日のみに縮小して開催することで、11 都県公連から容認を得た。当番市である、西東京市が主となって従事するが、平成 26 年度の東京都公民館研究大会の当番市の国立市と合同で従事するため、平成 26 年度の東京都公民館研究大会は中止する方向で進めている。

- 5 『公民館のあり方の検討についての意見書』提出後の経過について
事務局より説明した。

『公民館のあり方の検討についての意見書』の意見を参考に、行政経営課、政策課等の関係各課と公民館のあり方の検討について調整を進めている。

(質疑応答)

委 員 『公民館のあり方の検討についての意見書』の意見を参考に検討しているという
ういと、具体的にはどういうことか。

事 務 局 特に、検討事項の市民運営による公民館については、少し飛躍しすぎていると
いう意見があったので、それを踏まえたうえで、一つの可能性として調整をし
ている。

委 員 3 月の公民館運営審議会では、何らかの報告を受けられるのか。

事 務 局 その予定である。具体的な手法については、内部で調整を進めている。

委 員 公民館のあり方の検討ということでプロジェクトでの検討を進めてきたが、市
民と職員が協働で公民館を運営するか、市民が主体となって公民館を運営する
か、さまざまな考え方があがるが、具体的なあり方が報告書に盛り込まれるのか。

事 務 局 公民館の目標は、学習機会の提供を通じて、相互信頼の高い地域社会をつくる

こと、多様な立場の利用者を増やして、公民館を協働の場として位置付けていくことである。公民館の運営については、さまざまな手法があるようだが、選択肢として結論付けていく。

委員 全庁的に、公共施設のマネジメントについても検討が進められている。公民館のあり方の検討では、施設面については、あまり触れてこなかったが、公共施設のマネジメントとの関わりについては、どのように考えているか。

事務局 将来的に、人口の減少と施設の老朽化を考慮すると、施設の統廃合は避けられない。公共施設のマネジメントにおいては、今回の公民館のあり方の検討とは、別で検討していくことになる。

6 平成 26 年度公民館主催講座について

資料 5 について事務局より説明した。

平成 26 年度公民館主催講座については、国及び小平市の教育振興基本計画の基本目標を達成するために、平成 26 年度小平市公民館事業計画の作成を進めている。

学習成果を地域に還元することに重点を置き、具体的な内容としては、団塊の世代を取り込むような高齢者学級、市内 11 館の公民館のそれぞれの地域資源を活かした講座、市民が主体的に学んだことを積極的に発表し、地域に還元していく市民参加型の講座、仲町公民館・図書館のリニューアルオープンに向けて、図書館との連携等、新たな利用者層を増やすことを意識した講座等の実施に力を入れていく。また、公民館のあり方の検討から見直した点として、公民館が、単に個人の教養を高めるのではなく、コミュニティづくりの基盤を整備する施設になることを目指し、平成 26 年度の事業計画に盛り込み、公民館のあり方の検討の報告書と併せて、3月の第7回公民館運営審議会で報告する。

(意見等)

委員 来年度の企画の資料を見て大変感心した。一年前に提案した、農業、商業等との連携については、以前は農業関係者も公民館に来ていたが、今はほとんど来ないようなので、積極的に取り組んでほしい。また、今年度は二つの高齢者学級に参加したが、参加者からの評判は非常に良い。来年度も、団塊の世代を対象とした講座を企画しているが、ただチラシを配るだけではなく、団塊の世代が多く来るような仕組みを考えてほしい。また、大沼公民館では、FC 東京に関連した講座を企画しているとのことで、FC 東京の練習場には、子ども連れの父親の姿が多く見られるので、男性の参加を期待できる講座になるのではないかと。

鈴木公民館のラジオ体操の講座も非常に良い企画で、ラジオ体操を通じて、地域が結びつき、大きく発展することを期待している。

委員 仲町公民館のリニューアルオープンに向けた企画はないのか。

事務局 定期講座とは別に、図書館と合同でリニューアルオープンに向けた企画を検討している。新仲町公民館・図書館は、建築物としても特徴があり、陶芸窯がある数少ない施設の一つなので、そうした特徴を活かした事業の実施について検討している。

委員 土曜日に保育事業は運営できるのか。

事務局 保育事業の運営は、原則平日ということになっている。保育事業の運営の前提としては、保育者を確保する必要があるので、保育者の確保が可能であるかを確認したうえで、講座の内容等でやむを得ないものについては、個別に調整することになる。

委員 タイムリー講演会は土曜日だったが、小さな子どもを連れた父親が意外に多かったので、保育をしてもらえるところがあれば、講座に参加できる人がいるのではないか。

委員 家庭教育講座は、仕事をしていない母親が参加するイメージがあるかもしれないが、土曜日に開講することで、新たな受講者層の開拓につながるのではないか。

委員 子ども向けの事業で、小学生高学年になると、参加者が少なくなるとのことであつたが、青少対のイベントでも同様の傾向がある。例えば、親子で参加する焼き芋大会等は、若い父親は経験がないので、興味を持って参加する人が多い。公民館の事業でも、子どもと同時に、親を巻き込むものが非常に重要になるのではないか。その中で、年長の子どもが年少の子どもの面倒をみるような形ができれば、さらに地域の中でのつながりが深まっていくのではないか。

委員 男性向けの「昼食」をつくる講座は、ぜひ「夕食」でもやってほしい。夜の方が参加できる人が多いのではないか。また、講座のタイトルは、表現次第で集客力が上がると思うので、引き続き工夫してほしい。

委員 小川西町公民館の高齢者学級で野菜づくりがあるが、小平市内でも、高齢化のために畑仕事ができなくなった農家もあると思うので、協力を仰いで実施すると良いのではないかと。また、子どものうちから公民館になじみを持っておくと、大人になっても、公民館で活動してもらえないのではないかと。子どもが多く集まるようなことをやってほしい。

委員 子ども対象のものから高齢者対象のものまで幅広く、非常にバランスが取れた内容の企画案になっている。ただ、憲法等の社会問題を題材にした講座がもっとあっても良いのではないかと。

事務局 憲法講座は来年度も引き続き中央公民館で実施する。

委員 地域資源に関連した講座が各館一つずつはあってもいいのではないかと。募集については、対象年齢を絞るとなかなか人が集まらないということがある。反対に、応募者が多数の場合には、他の館で同様の講座を実施し、より多くの方が希望の講座を受講できるようにしてほしい。また、講座名やチラシの中で、「マイノリティ」とか「ファシリテーション」といった横文字が多い。誰にでも分かりやすい表現を心がけてほしい。

事務局 応募者が多数の場合には、他の館で実施することは十分可能であると考えている。この他にもどのような対応方法があるか、引き続き検討していきたい。

委員 公民館運営審議会委員になり、公民館について勉強して思ったが、公民館について考える講座があってもよいのではないかと。公民館のことを知らない人に受講してもらえないような講座になれば、公民館に対する理解がさらに深まるのではないかと。

委員 講座からいくつもサークル化していて素晴らしい。そのサークルが長く公民館で活動していくことが公民館の活性化につながると思うので、サークル化した後のサークル支援にも積極的に取り組んでほしい。また、講座のタイトルは軽い表現で参加しやすく、内容はしっかりと考えてもらえるようなもの、地域に還元できるものと考えてほしい。講座によっては、ニートやひきこもり等のナーバスなテーマを扱うものもあるようなので、専門家や関係課と連携をとって、表現等には十分に留意し、来てほしい人に届くような講座にしてほしい。

7 その他

- (1) 仲町公民館・図書館の建替え工事の進捗状況について
- (2) 中央公民館ブロック塀改修工事について
- (3) 次期公民館運営審議会公募委員の募集について
- (4) 中央公民館自衛消防訓練について

次回は、3月18日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。